



静岡市 いきものの 散策マップ

世界文化遺産
三保・羽衣の松コース

しょくぶつ

ハマヒルガオ



砂浜にはうつる植物で、5～6月にあわいも色のラッパ型の花を咲かせます。

ハマダイコン



中国原産のダイコンが、砂浜に広がったもので3～6月にあわいも色の花を咲かせます。

ハマエンドウ



砂浜に生えるマメの仲間です。4～5月に紫色の花を咲かせます。

ケカモノハシ



砂浜などの海岸に生えているイネの仲間。7～9月に丸い穂状の花を咲かせます。

ハマゴウ



砂地の海岸や河原で、地下茎が砂中に長く太く横たわり、大きくなります。7～9月に紫色の花を咲かせます。

ツルナ



砂浜に生えるつる植物です。葉は厚く、一部の地域では食用にされます。4～11月に小さな花をつけます。

コウボウムギ



砂浜に生えているカヤツリグサの仲間。5～7月に太い穂をつけます。かつて、茎の繊維から筆をつくりました。

カワラナデシコ



河原、海岸の砂浜、草地に生えています。7～10月にあわいも色に赤い花を咲かせます。

浜辺の植物

松林近くの植物

ヘクソカズラ



山野から人家付近まで見られるつる植物で、8～9月に中心が赤紫色で花びらは白色の花をつけます。

ヤクシソウ



キクの仲間。林のまわりに生えている。9～11月に黄色の花を咲かせます。

クズ



マメの仲間。つる植物で、日当たりのよいところに生えています。8～9月にこい紫色の花を咲かせます。秋の七草のひとつです。

トベラ



常緑の小さな木で、海岸近くから河川沿いなどに見られます。5月に白い花を咲かせます。

コバンソウ



ヨーロッパ原産のイネの仲間。7～9月に小判型の穂をつけることからこの名があります。

テリハノイバラ



小さな木で、6～7月に白い花を咲かせます。崖地や岩場のほか、河原や海岸でも生えています。

スマレ



陽当たりのよいところに生えています。3～5月に紫色の花を咲かせます。

クロマツ



潮風に強く、主に海岸に自生するマツで、アカマツとくらべて樹皮が黒っぽくなります。

アクセス情報



【バスでのアクセス】(JR清水駅より)しずてつバス清水駅前バスターミナル3番線より「三保山の手線(三保水族館、三保車庫前)」に乗り換える。

羽衣の松まで
1. 「三保松原入口」で下車(清水駅より約20分)。
2. 徒歩約20分で羽衣の松。
(※土日祝日は、「三保山の手線(世界遺産三保松原行)」に乗り換える。終点が羽衣の松です。)

清水灯台まで
1. 「三保本町」で下車(清水駅より約25分)。
2. 徒歩約25分で清水灯台。

緊急連絡先

- 静岡県救急医療情報センター TEL&FAX: 0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
- 消防 119番
- 警察 110番

注意事項

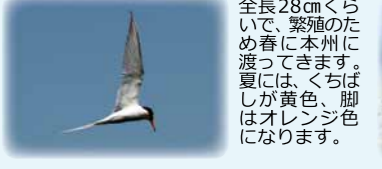
- ハイキングでの安全は自己責任をお願いします。季節に合わせた服装・水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとっておきましょう。
- 里山には、ハチやヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹・花・山菜などを無断で取らないでください。
- 動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク
 発行者：静岡市清流の都創造課
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
 TEL: 054-221-1357 FAX: 054-205-2666
 制作年：平成26年2月

とり

浜辺のとい

コアシサシ



全長28cmくらいで、繁殖のため春に本州に渡ってきます。夏には、くちばしが黄色、脚はオレンジ色になります。

ウミネコ



基本的には冬に見られるカモメの仲間。鳴き声が「ミュウミュウ」とネコの鳴き声に聞こえるのでこの名があります。

オオミズナギドリ



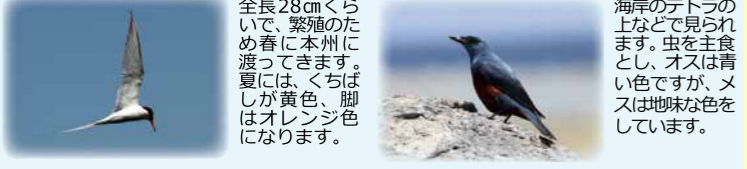
春から夏にかけて沖合の波の上をすべるように飛びます。つばさを広げると1m以上にもなります。

カワウ



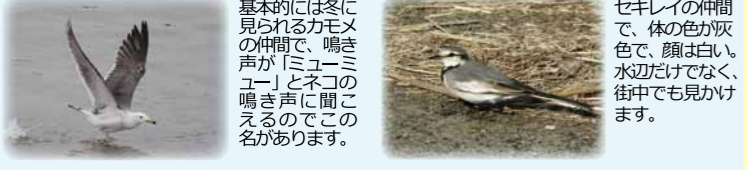
魚を主食とする大型の水鳥です。近年数が増えてあちこちで見られるようになってきました。

イソヒヨドリ



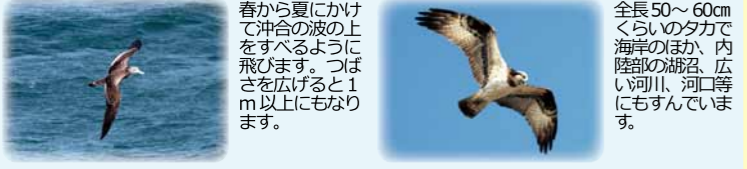
海岸のテトラの上などで見られます。虫を主食とし、オスは青い色ですが、メスは地味な色をしています。

ハクセキレイ



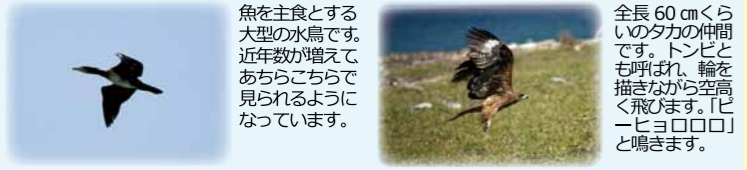
セキレイの仲間。体の色が灰色で、顔は白い。水辺だけでなく、街中でも見かけます。

ミサゴ



全長50～60cmくらいのタカで、海岸のほか、内陸部の湖沼、広い河川、河口等にもすんでいます。

トビ



全長60cmくらいのタカの仲間。トンビとも呼ばれ、輪を描きながら高く飛びます。「ヒーヒー」と鳴きます。

松林中のとい

ツグミ



冬鳥として大陸よりわたってくるハト大の鳥です。木の葉や果物などを食べ、春に北へ帰ります。

オナガ



尾の長いカラスの仲間。群れていることが多く、静岡市内では三保半島でよく見られます。

キジバト



全長33cmくらいで、くびに青色をおびた灰色の模様があるハトです。平地から山地の林や、市街地などに見られます。

コゲラ



全長15cmくらいの小型のキツツキで、「ギーギー」と鳴きます。木の皮の下の虫をついで食べます。

ヒガラ



全長10～13cmで、背と頭は黒く、腹は薄い褐色です。「ツビチ、ツビチ」または、「チヨビ、チヨビ」と鳴きます。

ヤマガラ



全長13～15cmくらいで、背と腹がレンガ色をしています。「ツツピー、ツツピー」と鳴きます。

ピンズイ



夏は高山などで繁殖し、冬は低地の松林などで過します。尾をセキレイのように上下に振ります。

カワラヒワ



全長15cmくらいの小鳥で、黄褐色で、太い嘴と翼に黄色が混じっています。雑木林や人家周辺に1年中見られます。

むし

アオスジアゲハ



黒地のはねに水色の筋があり、とても速く飛ぶアゲハチョウの仲間です。幼虫はクスノキの葉を食べて育ちます。

ベニシジミ



3cmくらいになる小さなチョウで、堤防や畑のまわりなどでよく見かけます。成虫は3～11月に発生します。

シオカラトンボ



はねを広げると7cmくらいになるトンボの仲間。平地から低い山地にふつうにみられます。メスはムギワラトンボとも呼ばれます。

ショウリョウバッタ



オスで5cmくらい、メスで8cmくらい。大きなバッタです。雄は飛ぶときにキチキチと音を立て、キチキチバッタとも呼ばれます。

イチモンジセセリ



2cmほどのチョウで、5～10月に見られることも普通のチョウで、花によく集まります。

クマバチ



体長2cmを超えるミツバチの仲間。黄色の胸部以外には黒い模様も含まれ、黒いずんぐりとしています。初夏から秋に見られます。

オンブバッタ



緑色の大きなメスの背に小さなオスが乗っていることが多いです。原っぱなどで8～12月に見られます。

トノサマバッタ



緑色または褐色で、はねは濃茶色と白色のまだら模様。大きなバッタです。7～11月に、空き地や河原などで見られます。

メモ

しずおか みんなの しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう

静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!!(ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)

